



県北教育事務所 社会教育だより

つながれ KENPOKU

令和5年2月2日 発行

令和5年がスタートし、早くも2月に入りました。今年も時世に合わせながら、より積極的な社会教育活動が展開できるよう努めていきたいと思っております。
今回は、第2回家庭教育推進県北地区ブロック会議と岩代図書館訪問の様子についてお伝えします。

第2回家庭教育推進県北地区ブロック会議 1月19日(木) 自由民主福島会館

今年度の取組を振り返るとともに、来年度の方向性について協議する中で、たくさんの貴重な御意見をいただくことができました。短い時間でしたがとても内容の濃い時間となりました。

依存症の手前にいる子どもや親への対応が必要ではないか。

親子での研修会を充実させてはどうか。



研修内容や成果を保護者や企業に広めるための工夫を考えるべきではないか。

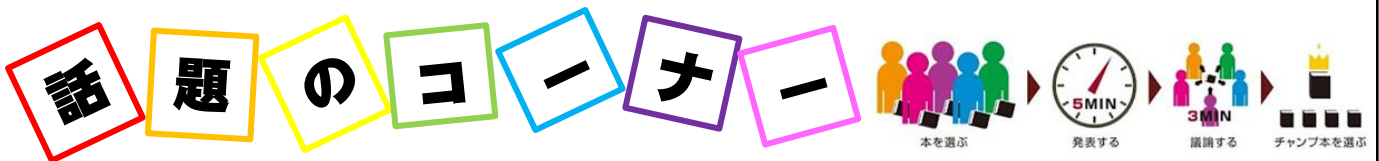
特色ある読書推進活動 岩代図書館訪問 1月21日(土)



<子ども司書による読み聞かせ>

岩代図書館では、オープンと同時に発足し30年近く活動しているボランティア団体「おはなしたんぼぽ」の皆さんが毎月第3土曜日におはなし会を実施しています。

おはなし会の内容は、アイスブレイクのじゃんけんゲームからスタートし、次に二本松市子ども司書講座を受講した岩代中学校の生徒(子ども司書)による読み聞かせ、最後に工作タイムがある約1時間の活動です。活動後には、より楽しいおはなし会を目指して、反省と次回の活動についての話し合いを行い、意見を交わしているとのこと。



昨年の12月に第8回福島県ビブリオバトル大会が開催され、中学生10名、高校生12名がお気に入りの本を持ち寄り、書評合戦を繰り広げました。

7月に第1回国見町ビブリオバトル、8月に第6回福島市ビブリオバトル、11月に第1回二本松市小・中学生ビブリオバトル大会が開催されたように、徐々に裾野が広がってきました。

ここで、ビブリオバトルの公式ルールを改めて御紹介いたします。

やってみませんか?

<知的書評合戦 ビブリオバトル> ~人を通して本を知る 本を通して人を知る~

- 1 ビブリオバトル(書評合戦)発表参加者が読んで面白いと思った本を持って集まる。
- 2 順番に1人5分間で本を紹介する。
- 3 それぞれの発表後に、参加者全員でその発表に関するディスカッションを2~3分間行う。
- 4 全ての発表終了後、「どの本が一番読みたくなったか?」を基準に投票でチャンプ本を決める。